

ETC Quick Guide .revA

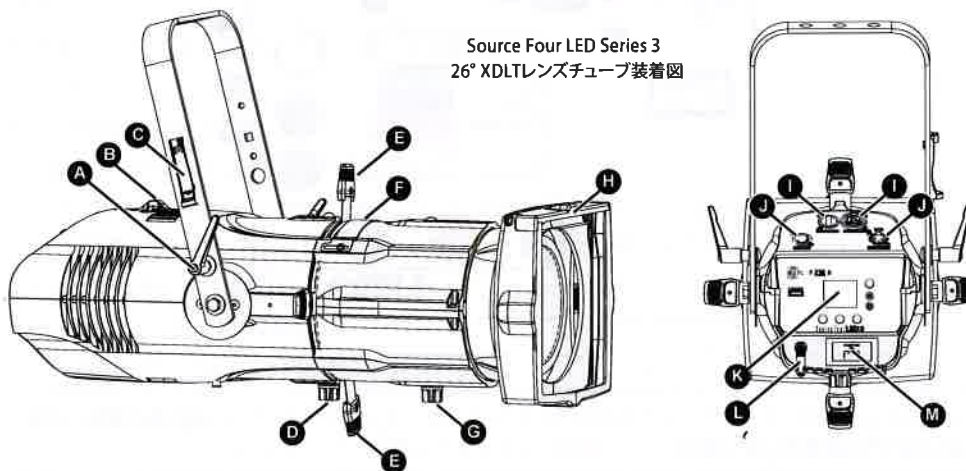
Source Four LED Series 3

概要

下記の図を基に、電源とデータの接続を含む器具の基本機能を説明します。
 詳細については、Source Four LED Series 3ユーザーマニュアルを参照してください。



ETC英文マニュアル



A	アームチルトロック: 必要に応じて器具を傾けてから、チルトロックを時計回りに回し位置を固定します。必要に応じて、軸から引張り、チルトロックの位置を調整します。
B	落下防止ワイヤーの取付穴: 落下防止ワイヤーを器具に取り付けてください。(5ページ)
C	アンテナ収納アクセサリ: 器具を輸送または保管するときは、ワイヤレスアンテナを保護するため収納してください。
D	回転パレルノブ: 緩めてパレルを回転させ、調整後にノブを締めて固定します。
E	シャッター: 4枚のフレーミングシャッターを使用してビームを成形します。
F	パターンホルダースロット パターン投射用のメタル用パターンホルダー (Aサイズ、Bサイズ)用スロット。 アクセサリスロット: ガラスパターンホルダー (Bサイズ) やアイリスシャッターやエフェクトマシンなどのアクセサリ用スロット。
G	ビームフォーカスノブ (レンズチューブ固定ネジ): 緩めてレンズチューブの位置を調整し、ノブを締めて固定します。(5ページ)
H	アクセサリホルダー: カラーフレームやトップハットなどのアクセサリを入れて、ホルダーをロックします。
I	電源入力および電源スルー コネクター: 電源入力および電源スルー用のpowerCON®TRUE1 TOPコネクタ。(5ページ)
J	DMX イン/スルー コネクター: DMX / RDM入出力用の5ピンXLRコネクター。
K	ユーザーインターフェイス: 器具のステータスを表示、DMXアドレスや操作モードの設定、スタンドアロンオプションの設定ができます。(4ページ)
L	アンテナ: ワイヤレスDMXを使用して、器具をコントロールする場合に使用します。アンテナストレージアクセサリ (C) にアンテナが格納された状態で出荷されます。器具を使用する前に取付けてください。
M	NFC (近距離無線通信) タグ: Set Lightアプリを使用して、器具にワイヤレスで通信できます。器具に電力を供給していない場合でもSet Lightアプリで通信可能です。



ETC 輸入代理店 株式会社 剣プロダクションサービス

〒223-0057 横浜市港北区新羽町1166 ■ TEL/045-547-2288 ■ FAX/045-547-2221 ■ www.kenpro-inc.com

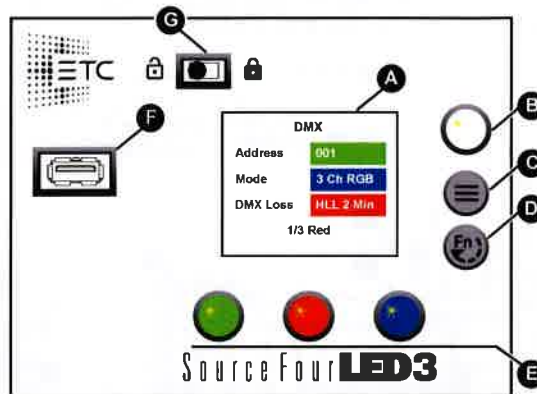
© 2021 Ken Production Service Inc. 本書の一部または全ての複製・複写・転用・再配布を禁じます

本書は、米ETC社の英文マニュアルを翻訳したもので、便宜的に一部加筆・修正・省略している箇所があります。内容および翻訳自体の正確性を保証するものではありませんので、疑問点がありましたら原文をご参照ください。なお、本書でお気づきの点がございましたら、弊社までご一報頂けると幸いです。今後の参考にさせていただきます。

ETC Quick Guide.revA

Source Four LED Series 3

ユーザーインターフェイス



A	<p>ディスプレイ:画面上の色は、ディスプレイの下のカラーエンコーダー (E) と、ディスプレイの右側のインテンシティエンコーダー (B) の色に対応しています。</p>
B	<p>インテンシティ エンコーダー:</p> <ul style="list-style-type: none"> DMXモードの場合、インテンシティ エンコーダーを押すことで、入力信号に関わらず一定時間点灯させることができます。 DMXモード以外の場合、インテンシティ エンコーダーを押すことで、現在のインテンシティと0%を切り替えることができます。インテンシティ エンコーダーを回すとディスプレイの白いフィールド部分の値を変更します。 詳細は、6ページの「スタンドアロンでの操作」を参照してください。 画面 [Main Menu] を開いている場合は、インテンシティ エンコーダーを回すことでメニューオプションをスクロール、押すことでメニューオプションを選択します。
C	<p>メニューボタン:メニューボタンを押して画面 [Main Menu] を表示し、器具を設定します。オプションを設定するときに、もう一度ボタンを押すと、前の画面に戻ります。</p>
D	<p>ファンクションボタン:押すと、操作モード選択画面が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Studio:3種類の色温度・プリセットのいずれかを使用するか、プリセットをカスタマイズします。 Color:12色のプリセットのいずれかを使用するか、プリセットをカスタマイズします。 Preset:12種類のプリセット (カラープリセット+フェードタイム) のいずれかを使用するか、プリセットをカスタマイズします。 Effects:12のエフェクトのいずれかを使用するか、エフェクトをカスタマイズします。 DMX:器具のDMXパラメータを表示および設定します。 詳細は、6ページの「スタンドアロンでの操作」、および6ページの「DMXでの操作」を参照してください。
E	<p>カラーエンコーダー (レッド、グリーン、ブルー):エンコーダーの色はディスプレイのオプションに対応しています。エンコーダーを押してディスプレイの下部にあるオプションをアクティブにするか、エンコーダーを回してディスプレイの値を変更します。</p>
F	<p>USBポート:ファームウェアの更新、器具の構成設定の保存とロード、またはフラッシュドライブを介したエラーログの保存に使用します。</p>
G	<p>UI (ユーザーインターフェイス) ロック:エンコーダーやボタンの操作をロックします。これにより、UIへの誤操作が防止されます。</p>

ETC Quick Guide .revA

Source Four LED Series 3

安全注意事項

重要な安全対策

電気機器を使用する場合は、次の基本的な安全上の注意を常に守ってください。

すべての安全上の注意を読み、それに従ってください

- ・屋外で使用しないでください。
- ・電源コードが高温の表面に触れないようにしてください。
- ・ガスや電気ヒーターの近くに取り付けしないでください。
- ・機器は、許可されていない人が簡単に操作できない場所と高さに取り付けてください。
- ・メーカーが推奨していないアクセサリ機器を使用すると、危険な状態が発生する可能性があります。
- ・本器具を本来の用途以外に使用しないでください。

このクイックガイドは、保管してください。



警告: 感電の危険あり

このランプの光源はユーザー交換はできません。資格のある技術者のみが交換してください。



警告: ご使用の前に以下の安全上の注意事項を必ず確認してください。

- ・ 器具は、湿度90パーセントを超えない乾燥した場所だけで使用すること。
- ・ 非調光の直電源をご使用ください。調光回路は使用不可。調光可能な電源を使用すると、器具が損傷し保証が無効になる可能性があります。
- ・ 清掃・メンテナンス時には電源ケーブルとDMXケーブルを取り外すこと。
- ・ 本体吊り下げ時は、器具重量に耐えうる取付器具を使用すること。
- ・ 器具重量に耐えうる強度の落下防止ワイヤーを使用すること。
詳細は、5ページの「器具の取付」を参照してください。
- ・ ワイヤーは器具本体のワイヤー取付穴に必ず取付けること。
- ・ アクセサリを取り付ける場合は器具を設置する前に、アクセサリホルダーがロックされていること、およびアクセサリ用の落下防止ワイヤーが取り付けられているか確認すること。
- ・ 器具を可燃物の上に設置しない。また可燃物に接近して設置しないこと。
- ・ レンズを外した状態で、器具を操作しないこと。
- ・ 破損したパワーケーブルを使用しないこと。パワーケーブルが破損した場合は交換すること。
- ・ 深いキズやヒビがあるレンズを使用しないこと。レンズが破損した場合は交換すること。
- ・ 光源を直視しないこと。目を損傷する危険があります。
- ・ 屋内用器具であるため、屋外での使用不可。

	最小離隔距離は 0.1m です。適正な距離を確保して設置してください。
	可燃性の表面または近くに器具を取り付けしないでください。
	点灯中は光源を見ないでください
	この器具はリサイクルを推奨します。不要になった器具の廃棄および回収については、各自治体の指示に従ってください。

ETC Quick Guide .revA

Source Four LED Series 3

アンテナの取付

この器具は、アンテナストレージアクセサリにアンテナが格納された状態で出荷されます。(1ページの図を参照)。ワイヤレスコントロールを使用する場合は、器具を使用する前にアンテナを取り付けてください。

1. アンテナの上部をつかみ、外側に引いてアンテナストレージアクセサリからスナップを外します。
2. 器具背面にあるNFCタグの横にあるアンテナベースにアンテナをネジ回し、ベースに取付けます。(1ページの図を参照)。

シャッターバルレルの取付

Source Four LEDシリーズ3には、XDLT専用シャッターバルレルまたは従来の標準Source Fourシャッターバルレルのいずれかをご使用頂けます。(従来のSource Four 標準シャッターバルレルは、XDLTレンズチューブには対応していません。)



注意：従来のSource Fourシャッターバルレルを取り付けるときは、ETCパーツHW5832で、シャッターバルレルをライトエンジンに固定します。Source Four LEDシリーズ3ライトエンジンに付属のネジは使用しないでください。短いネジ(1/4"-20 X 1/2")で従来のシャッターバルレルを固定すると、回転時にシャッターバルレルがライトエンジンから離脱する可能性があります。

シャッターバルレルをライトエンジンに挿入し、時計回りに45度回転させます。付属のネジとバルレル回転ノブで固定します。

レンズチューブの取付

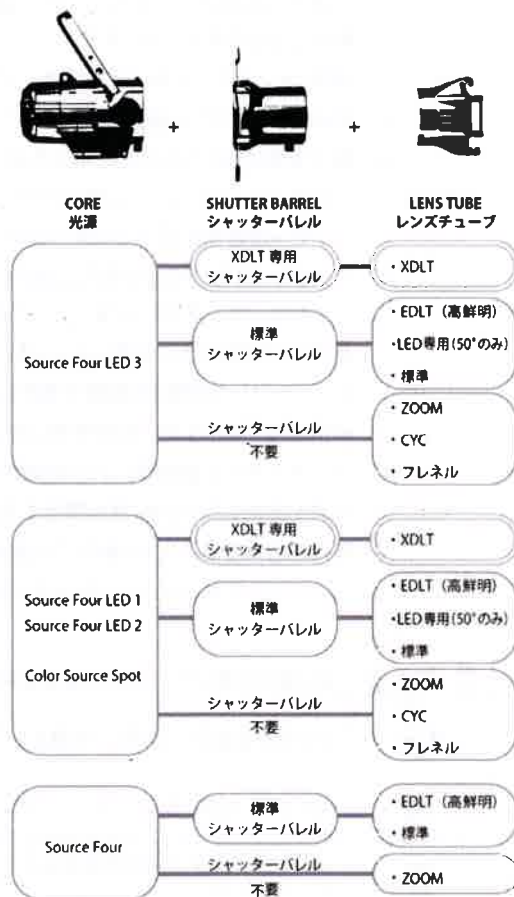
XDLTレンズチューブまたは、EDLTレンズチューブ標準 レンズチューブのいずれかを使用できます。

(標準レンズチューブには、従来のSource Fourシャッターバルレルを使用してください。)

また、ZOOMレンズ、CYCレンズ、フレネルレンズなど用途に合わせたオプションレンズを取付ける事も可能です。

レンズチューブの選択については右図をご参照ください。

レンズチューブをシャッターバルレルにスライドさせ、付属のネジとビームフォーカスノブ(レンズチューブ固定ネジ)で固定します。



ETC Quick Guide.revA

Source Four LED Series 3

器具の取付

適切な取付器具を使用してください。必要に応じて、アームの位置を調整してください。

電源とDMXの接続

- 5ピンXLRケーブルをDMX IN コネクタに接続してください。(外部コントロールを使用する場合のみ)
- 必要に応じて、XLRケーブルをDMX ソースまたはデータデジチェーンに接続してください。
- DMXスルーコネクタを介して、以下のように器具を接続できます。
 - ・1回路あたり：最大4台(20A 純直回路またはETC製R20 モジュール使用時)
 - ・R20リレーモジュール、ER15リレーモジュール、またはユニゾンエコーリレーパネルと併用する場合は、**パワーイン/スルー経由で渡り接続した場合：最大3台**
(他の機器を使用する場合は、ブレーカトリップカーブを参照してください)。
(1回路あたり最大20A / 定格電圧100V 時に限ります。電圧が100V 以下に低下している場合は、これらの台数は該当しません。)
 - ・DMXデジチェーン：最大32台
- 電源ケーブルを電源入力コネクタに接続して、非調光回路のAC電源(100~240 VAC、50/60 Hz)に電源ケーブルを接続します。

フォーカス(焦点)を合わせる

- 器具に電源を入れ、器具が起動するまで待ちます(起動中にETCスプラッシュ画面が表示されます)。
- エンコーダーを押して、ディスプレイを「スリープ解除」します。
- 現在どのような画面が表示されていますか？
 - ・**DMX:** いずれかのエンコーダーを押して表示画面を終了し、インテンシティ エンコーダーを押してLEDアレイをオンにすると、入力信号に関わらず器具を点灯させることができます。ディスプレイにはタイムアウト カウントダウンが表示され、LEDアレイが100%のインテンシティ で点灯し続ける時間を示します。インテンシティ エンコーダーを回して、タイムアウトカウントダウンを5分にリセットできます。
 - ・**他のすべての画面(スタジオ、プリセットなど):** インテンシティ エンコーダーを押してLEDアレイをオンにし、インテンシティ エンコーダーを回してインテンシティ を調整します。
- 器具を目的の位置に調整します。
 - アームのチルトロックを緩め、必要に応じて器具を傾けてから、チルトロックを締めます。
 - ビームフォーカスノブ(レンズチューブ固定ネジ)を緩め、必要に応じてレンズチューブの位置を調整してから、ノブを締めます。
- インテンシティ エンコーダーを押して、LEDアレイをオフにします。

ETC Quick Guide .revA

Source Four LED Series 3

DMXモードでの操作

電源を接続 → 器具にDMXを送信 →  押して画面[DMXモード]に切り替える。

→ インテンシティエンコーダーを押して選択。

DMXアドレス、DMXモード、およびDMX損失動作を設定できます。(RDMを介してこれらを設定することもできます。)

画面[DMX]には、現在のDMX設定内容が表示されます。いずれかのエンコーダーを押して、[wake スリープ解除]してから、いずれかのエンコーダーを押して値を編集します。エンコーダーの色は、ディスプレイのオプションに対応しています。エンコーダーを回して対応する値を変更し、エンコーダーを押して新しい値を保存することで設定内容が反映されます。

DMXモード

	Direct (Daylight HDR)	Direct (Lustr X8)	Expanded	Studio	3 Ch RGB	1 Channel
RDM Personality ID ▶	1	1	2	3	4	5
DMX Channel ▼						
1	Intensity	Intensity	Intensity	Intensity	Red	Intensity
2	Deep Red	Deep Red	CCT	CCT	Green	
3	Red	Red	Tint	Tint	Blue	
4	Mint	Amber	Tuning	Tuning		
5	Cyan	Lime	Mix	Strobe		
6	Blue	Green	Red	Curve		
7	Indigo	Cyan	Green	Fan		
8	Strobe	Blue	Blue			
9	Curve	Indigo	Strobe			
10	Fan	Strobe	Curve			
11		Curve	Fan			
12		Fan				

スタンドアロンでの操作

器具に電源を接続した後、ファンクションボタン  を押して、次の5つの操作モードを切り替えます。

- 操作モード[Studio] : 3種類の色温度プリセットのいずれかを使用するか、プリセットをカスタマイズします。
- 操作モード[Color] : 12色のプリセットのいずれかを使用するか、プリセットをカスタマイズします。
- 操作モード[Preset] : 12種類のプリセット(カラープリセット+フェードタイム)のいずれかを使用するか、プリセットをカスタマイズします。
- 操作モード[Effects] : 12種類のエフェクトのいずれかを使用するか、エフェクトをカスタマイズします。
- 操作モード[DMX] : 器具のDMXパラメータを表示および設定をします。

画面のオプションの色は、画面下部のカラーエンコーダーと、画面の右側のインテンシティエンコーダーの色に対応しています。エンコーダーを回して画面上部の色に対応する値を変更するか、エンコーダーを押して、画面下部にある対応するオプションをアクティブにします。

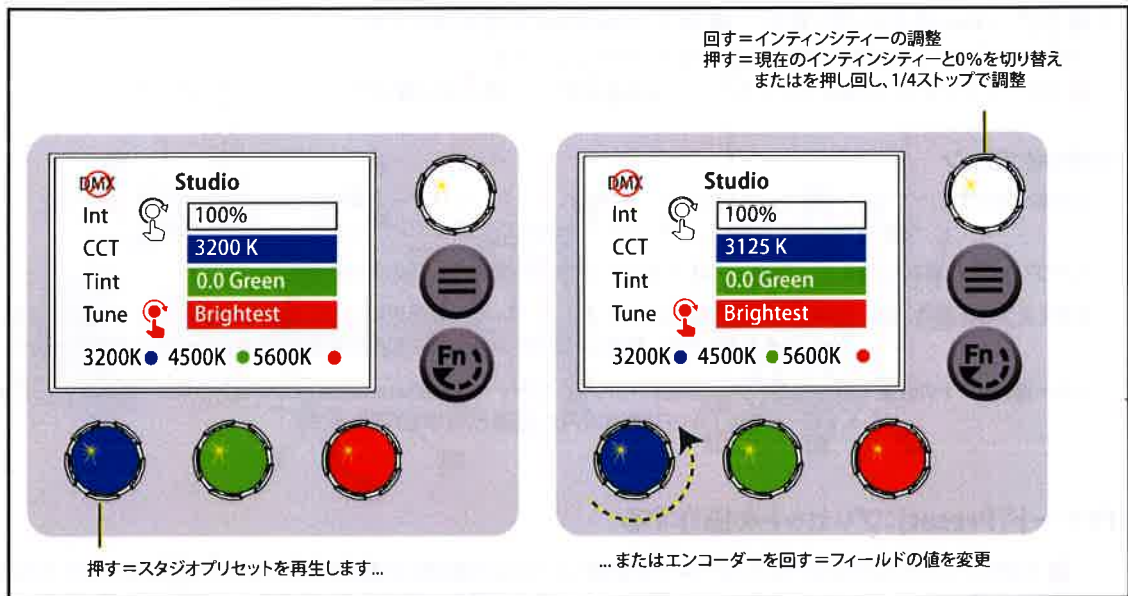
インテンシティエンコーダーを押して、現在のインテンシティと0%を切り替えます。スタンドアロン操作の器具が他のSourceFour LEDシリーズ3器具に接続されている場合、同じプリセットまたはエフェクトを再生します。

ETC Quick Guide .revA

Source Four LED Series 3

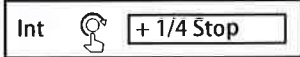

操作モード[Studio]:色温度を操作する

1.  押して画面[Studio]に切り替える。



2. 使用するスタジオプリセットに一致するカラーエンコーダーを押します。(ブルー= 3200 K、グリーン= 4500 K、レッド= 5600K)


その他のオプション

- ・出力をオフにする: インテンシティ エンコーダーを押して、インテンシティ を現在の値から0%に切り替えます。インテンシティ エンコーダーをもう一度押すと、前のインテンシティ 値に戻ります。
- ・プリセットの変更: エンコーダーを回して、対応する値を変更します。
【例】インテンシティ エンコーダーを回してインテンシティ 値を変更したり、●エンコーダーを回して色温度値を変更したりします。
- ・インテンシティの変更: インテンシティエンコーダーを回してインテンシティを調整するか、インテンシティ エンコーダーを押し回してインテンシティを1/4 Stop 調整します。

- ・チューニングの変更: ●エンコーダーを押し回して値を Metamer に変更し、次に●エンコーダーを回して Tune 値 (Metamerの"recipe") を変更します。
●エンコーダーをもう一度押して回すと、[Brightest 最も明るい] または、[Spectral スペクトル] オプションに戻ります。

- ・元のプリセットに戻す: プリセットに対応するエンコーダーをもう一度押すと、元の値に戻ります。
- ・変更したプリセットを保存: 保存したいプリセットに対応するエンコーダーを長押しします。画面にはプリセットを保存する前に3秒間のカウントダウンが表示されます。
【例】プリセット4に任意のカラーを保存する場合や、●エンコーダーを回して、任意のカラーを作ります。保存したいプリセット番号(P4)画面に表示されるように、●を回してページを切替えます。P4カラーエンコーダー●を押し続けます。プリセット4に任意のカラーが上書き保存されます。


ETC Quick Guide .revA

Source Four LED Series 3


操作モード[Color]:カラーを操作する

1.  を押し、インテンシティーエンコーダーを使用して[Color Mode]が表示されたら、インテンシティー エンコーダーを押して選択します。
2. ● 回す → Hue (色相)の値を変更。 ● 回す → turation (彩度)の値を変更。
画面に表示される十字線は、おおよそのカラーを示しています。
● 回す → プリセットの保存されてるページ1~6を変更。 ● または● 押す → プリセットカラーを出力。








その他のオプション

- ・出力をオフにする: インテンシティー エンコーダーを押して、インテンシティー を現在の値から0%に切り替えます。インテンシティー エンコーダーをもう一度押すと、前のインテンシティー 値に戻ります。
- ・元のプリセットに戻す: プリセットに対応するエンコーダーをもう一度押すと、元の値に戻ります。
- ・変更したプリセットを保存: 保存したいプリセットに対応するエンコーダーを長押しします。画面にはプリセットを保存する前に3秒間のカウントダウンが表示されます。画面 [Color] でプリセットに加えた変更は、画面 [Effects] と画面 [Preset]にも影響します。
- ・カラー選択モードの変更: ● エンコーダー (設定アイコン ) を押す → Hue/Saturation (デフォルトのカラー選択モード) と x, y を切り替え。x, y モードでは、CIE1931色度図内でx座標とy座標を設定します。

操作モード[Preset]:プリセットを操作する

1.  を押し、インテンシティーエンコーダーを使用して[Preset Mode]が表示されたら、インテンシティー エンコーダーを押して選択します。
2. ● 回す → プリセットを選択 ● 押す → プリセットを再生

その他のオプション

- ・プリセットフェードを一時停止する: ● 押す → 再生と一時停止を切り替えます。
- ・プリセットを停止する: ● 押す → プリセットの出力を停止します。
- ・プリセット再生時の状態を変更する: インテンシティー エンコーダーを回す → 再生時に出力するインテンシティーの値を変更します。
● 回す → 再生時のフェード値を変更します。
- ・DMXキャプチャ: DMX制御で作成したカラーに内容をプリセットに保存し、スタンドアローン操作で使用することができます。
※DMXモード [3ch RGB] [Studio] [Expanded] の時に限ります。
画面[DMX] にし、DMX制御で保存したいカラーを作成します。画面[Preset] が表示されるまで  を繰り返し押します。
スナップショットアイコン  が表示されていることを確認してください。
● を回し、DMX制御で作成したカラーを上書き保存するプリセットを選択します。
● を長押しすると、3秒間のカウントダウンが表示され保存されます。
- ・プリセットカラー: ● 押す → 画面 [Edit Preset Colors]が表示され、内容を変更できます。各エンコーダーを回して対応する値を変更できます。
を編集する 画面に表示される十字線はおおよそのカラーを示しています。
● (保存アイコン ) 押す → 新しいカラーをプリセットに保存します。
● (戻るアイコン ) 押す → 保存せず、画面[Preset]に戻ります。
DMXケーブルで接続されたfos/4シリーズ器具に全プリセット内容を送信します。※全てのプリセット内容が上書きされます。
- ・プリセットを接続された器具にプッシュする:  押す → 以下の通りメニューをナビゲートし、全プリセット内容を送信します。
画面 [Main Menu] Local Settings > Push Presets → 送信確認画面が表示されます。
● (実行アイコン ) 押す → 全てのプリセット内容が、接続されている器具へ送信されます。
● (キャンセルアイコン ) 押す → 送信を実行せず前の画面に戻ります。
※ 調光卓等からDMX制御信号を入力している場合は、送信できません。

ETC SetLightアプリでワイヤレスで設定する

NFC機能を備えたスマートフォンデバイスに"Set Light" アプリをダウンロードし、アプリを使用して、器具の設定ができます。器具の電源がoffの場合でもNFC タグにデバイスをタップして、ワイヤレスで設定が可能です。Multiverse 機器と組み合わせ、複数の器具を設定できます。(Multiverse 機器のBluetooth 範囲内である場合のみ)
"Set Light" の詳細につきましては、etcconnect.com / Apps にアクセスするか、右側のQRコードをスキャンしてください。

